学校番号	１２０１

令和　５年度　家庭科

教科	家庭	科目	生活と保育(家庭編)	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を身に付ける科目です。
・保育系の進路に進みたいと考えている生徒、または家庭基礎の「保育」の内容をさらに発展させたいと考えている生徒が対象です。
・親子交流実習、施設実習を通して、幼児とのふれあい交流を行います。意欲的に参加しましょう

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見出し、思考を深め、適切に判断し、創意工夫し表現する能力を身に付けている。	親子交流実習や施設実習を通して、子どもの発達の特性や発達過程に対応した技術を身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識を習得し、子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 自己評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査 自己評価　相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査 自己評価　相互評価等	学習状況の観察 ワークシートの記述 レポート 実習記録 発表 定期考査等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	学ぶにあたって　子どもの生活	学習の意義や内容、座学や実習の方法、評価方法の理解 ・栄養と食事 ・栄養と食事習慣の形成 ・取り分け離乳食、幼児食実習	 ○	 ○	 ○	 ○	a 子どもの食生活を学ぶ中で、さまざまな課題や問題点を考えようとしている。 b 乳汁栄養から離乳食、幼児食へと進む発育・発達に応じた食事のあり方についてまとめたり、発表したりしている。 c 乳幼児期の食生活の特徴を把握し、献立を立案することができる。 d 乳幼児期の食生活の特徴を理解している。	授業観察 ワークシート レポート 実習記録 発表 定期考査等
	子どもの遊びと生活習慣の形成	・生活と遊び ・乳幼児の食生活と遊びを併せて ＊食育知育玩具: 食べ物マスコット製作 ＊9月中旬まで座学と平行して実施 ・生活習慣の意義 ・基本的生活習慣 ・社会的生活習慣 ＜7月考査＞	○

2学期	子どもの保育と保育方上	・遊びの援助 ＊絵本の効力 ＊お話作り ＊親子交流実習に向けての遊びの準備をする	○	○	○	○	a 子どもの発達にあった遊びを考えようとしている。 b 子どもの発達にあった遊びを自分なりに考え、工夫している。 c 発達にあった遊びの内容を身につけている。 d 発達にあわせて遊びを働きかけることが大切であることを理解している。	授業観察 ワークシート レポート 実習記録 発表 定期考査等
		・保育とは ・人間生成と保育 ・家庭保育 ・集団保育 ・保育者の役割とは ・指導のポイント ＊親子交流実習（幼児） ＜12月考査＞	○	○ ○	○	○ ○ ○	a 自分自身が子どもを取り巻く周囲の大人になることを理解し、果たすべき役割について考えようとしている。 b 集団保育・家庭保育、それぞれにおける場面での子どもとの適切な関わり方について理解を深めることができる。親子交流実習を通して子どもの生活や行動などを観察し、客観的に分析し、まとめることができる。 c 親子交流実習を通して、子どもの生活や行動などを観察し、客観的に分析できる。 d 保育の意義や重要性について理解できる。	授業観察 ワークシート レポート 実習記録 発表 定期考査等

3学期	子どもの生活と福祉	・日常の健康管理 ・病気の看病と応急処置 ・事故の防止と応急処置 ・児童福祉の理念 ・児童福祉に関する法律 ・児童福祉のための機関・施設 ・児童虐待とその予防 ・これからの子育て支援 ・子育て支援の課題 ＜3月考査＞	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a 乳幼児の観光を守る保育者の役割について考えようとしている。子育て支援の課題と展望について関心を持っている。 b 健康管理と事故防止について考えを深めている。子育て支援の課題と展望についてまとめたり、発表したりしている。 c 基本的な看護と事故防止方法について、実習を通して身につけている。子ども・子育てに関わる問題点や解決方法について情報を収集・整理・調査することができる。 d 子どもが健康で安全に生活するために必要な知識を身につけている。児童福祉の考え方やそれに関わる制度を知識として習得し、子どもや子育てを取り巻く問題点や課題にまで踏み込んで分析し、望ましい方向性について理解している。	授業観察 ワークシート レポート 実習記録 発表 定期考査等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　＊は、ワークショップ、実習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。